

報道関係各位

日本リスクコンサルタント協会

第33回東京オープンセミナー12月1日(木)開催**第一部「日本におけるBCM(事業継続経営)」****第二部「コンピュータ・フォレンジック調査の視点からの危機管理体制構築」**

日本リスクコンサルタント協会(会長:加藤善治郎 セコム(株) 顧問)では、来る6月9日(木)午後6時00分より、**第33回東京オープンセミナー**を(株)日本アルマック リスクマネジメント教育センター セミナールーム(東京都千代田区麴町4-5 桜井ビル5F)にて開催します。

新潟中越地震などの天災による被害、情報セキュリティリスクなど、組織の脅威となる潜在リスクを特定し、損失を最小限に止めるとともに、クライシスが発生した場合に、予め策定しておいた事業継続計画(BCP)に基づく施策や代替手段を講じることにより、企業が持つブランドその他付加価値を維持・発展していくことが重要となってきています。まず、第一部の講演では今後の経営に必須とされるBCM(事業継続経営)の動向やBCMの事例について説明します。

続いて第二部では、コンピュータ・フォレンジックを利用したインシデントレスポンスと危機管理体制の構築の重要性を説明します。セキュリティインシデントが発生し、インシデントレスポンスをしても犯人が長期にわたって判明せず、そのまま迷宮入りするといった事件が少なくありません。それは現在のインシデントレスポンス体制が、実際に犯人を見つけ出すといった視点で構成されていないからです。不正調査を行い、犯人を見つけ出すという視点からのインシデント対応体制の構築は、早期解決が可能であるだけでなく、リスクマネジメント体制が整備されているという点で企業価値を高くすることができます。

- 日 時:平成17年12月1日(木)18:00~21:00(17:30 開場)
 - 会 場:(株)日本アルマック リスクマネジメント教育センター セミナールーム
(東京都千代田区麴町4-5 桜井ビル5F)
 - 第一部 「日本におけるBCM(事業継続経営)」 18:10~19:10
講師:前田 泉 氏 (株式会社ITプロフェッショナル・グループ 取締役COO)
 - 第二部 「コンピュータ・フォレンジック調査の視点からの危機管理体制構築」
19:30~20:30
講師:守本 正宏 氏 (株式会社UBIC 代表取締役)
 - 参加費:一般4,000円
- ※詳細は右記URLをご覧ください。 http://www.rmcaj.com/web_page/capacity/tokyo.htm

【日本リスクコンサルタント協会とは】平成5年12月に設立。日本におけるリスクマネジメント事業の健全な発展と、リスクマネジャー及びリスクコンサルタントの社会的認知と啓発を図ることを目的とする。平成9年から認定資格「シニアリスクコンサルタント®」、平成14年から認定資格「CROチーフリスクオフィサー®」を制定。昨年「FRMファイナンシャル・リスクマネジャー」を制定。現在(2005年11月)、個人会員600名、法人・認定校会員数8社。

日本リスクコンサルタント協会 事務局・荒木 〒102-0083 東京都千代田区麴町4-5 桜井ビル5F
TEL:03-3265-6244 FAX:03-3288-2757 E-mail:risk@rmcaj.com <http://www.rmcaj.com/>

※ 報道関係の方で本セミナーご参加希望の方は無料ご招待とさせていただきますので、本状を当日受付までご持参ください。